



你好!

北京通信

Vol.2



福井商工会議所 主事
(中国日本商会 出向)
藤原 卓也

新年快樂！(新年あけましておめでとう！) 中国では旧歴の正月(いわゆる「春節」)を祝う風習があり、

今年2月18日から国内最大級の連休が訪れました。日本を訪れる中国人旅行者もこの時期は大幅に増加するので、福井の観光地にも中国人の姿が増えたのではないのでしょうか。

3月15日は特別な日

さて、日本ではあまり馴染みがありませんが、毎年3月15日は「世界消費者権利デー」です。消費者の権利を促進するために設けられた世界的な記念日であり、また中国で消費者製品を扱う企業にとって最も注意が必要な日でもあります。

国営テレビ局の中国中央電視台(CCTV)が毎年この日にクレーム対応や製品保証対応の悪い企業を

特集し、見せしめにするためです。

企業への影響は？

過去には、日系デジカメメーカーなどの外資系企業が複数社特番に取り上げられ、厳しく非難されたことがあります。この番組に取り上げられると、企業・製品イメージが著しく傷つけられ、経営に多大な影響が及ぼされます。そのため中国に進出



する日系メーカーの中には、社内に消費者対応委員会を設けて特番対策を講じる企業もあるほどです。

昨年3月15日には消費者権利の保護強化と企業の責任・義務のさらなる厳重化を図る目的で「消費者権利保護法」が改正されました。新たに「インターネット等の実店舗以外で購入した商品について、7日以内であれば消費者に返品の特権を与える」といった事項が盛り込まれ、これまで以上に企業へのコスト負担も増えました。こういった政策の背景には、一般消費者の権利保護の姿勢を示すことで政府に対する国民の信頼を高めた、という狙いがあるものと推察します。

内需獲得には十分な注意を

日本のサービス業者が誇る高いホスピタリティを武器に、昨今では福井県内の飲食・サービス業者の中国進出も目立っておりますが、飲食業者やサービス業者もこの特番のターゲットになります。昨年起きた上海福喜食品の「期限切れ肉」問題が記憶に新しいですが、中国でも食の安

全は消費者の関心が高い分野です。

世界トップの人口に加え経済成長が進む中国では一般市民の所得水準も向上しており、日本にはない大きな内需が存在します。飲食・サービス業に置いてビジネスチャンスは大きいものと思われませんが、消費者権利の拡充と企業の責任・義務増大傾向にある中国においては、消費者対応に十分注意して魅力ある中国マーケットの獲得に臨んでいただきたいと思えます。また、現地情報の収集にはぜひ中国日本商会をご活用下さい。

中国日本商会へのお問い合わせは・・・

福井商工会議所 会員サービス課

TEL 0776(33)8254



※北京通信は隔月で掲載します。